

各 位

会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション  
 代 表 者 名 代表取締役社長 浮 田 聡  
 (コード：5277 JASDAQ)  
 問い合わせ先 執行役員管理本部長 井 上 卓 郎  
 (TEL. 03-5689-6311)

平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績との差異（非連結）  
 及び平成 31 年 3 月期業績予想に関するお知らせ

平成 29 年 9 月 1 日に開示しました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期業績予想と、本日公表しました平成 30 年 3 月期決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

平成 30 年 3 月期通期（累計）業績

（自 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,692	280	300	190	24.62 円
今回実績 (B)	3,394	239	260	206	26.72 円
増減額 (B-A)	△298	△41	△40	16	
増減率 (%)	△8.1	△14.6	△13.3	8.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	2,506	134	148	92	11.95 円

尚、平成 30 年 3 月 31 日現在の発行済株式総数 9,332,400 株であります。

2. 差異の理由

当社主力のスパンクリート事業は、平成 30 年 3 月期下半期、建設工事の進捗遅れと原材料・燃料の価格の高騰や輸送用トレーラー不足などによる採算悪化から業績予想に対して減収減益となりましたが、減損会計処理の取り止めにより当期純利益は改善しました。一方、不動産事業の業績は、業績予想に対し堅調に推移しました。

その結果、当社平成 30 年 3 月期通期業績は、「売上高」、「営業利益」、「経常利益」の実績値は予想値を下回りましたが、「当期純利益」の実績値は予想値を上回りました。

### 3. 第57期（平成31年3月期）の業績予想

第57期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の業績予想は、2020年に向けてオリンピック・パラリンピック事業関連の諸工事の本格化、鉄道各社のホームドア設置事業の進捗などのため、売上高は増大しますが、前期より引き続き原材料・燃料の価格の高騰やトレーラー不足による輸送費の増加が予想されるため、今期に比べ増収減益を見込んでおります。

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり 当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 （累計）	2,191	23.4	67	△66.1	75	△64.2	64	△56.3	8.29
通期	4,218	24.3	161	△32.8	177	△32.0	149	△27.8	19.30

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上